

ウェルビーイングアワード

弘大研究機構に優秀賞

心身の健康活動評価

少子高齢化社会の課題解決に向けた優れた取り組みを行う企業・団体を表彰する「ウェルビーイング&エイジテック2025アワード」(ウェルエイジング経済フォーラム主催)で、弘前大学健康未来イノベーション研究機構が優秀賞に選ばれた。優秀賞は、最高賞の経済産業大臣賞に次ぐ位置付け。心身の健康の向上

や、社会全体の幸福の実現を目指す同大の研究活動が評価された。

弘大は2005年から実施している「岩木健康増進プロジェクト(岩木健診)」で蓄積した健康ビッグデータを基に、科学的根拠に基づく健康施策を推進してきた。国の研究プロジェクト「COI STREAM」(2013〜22年)、「CO



「社会全体の幸福実現を目指すウェルビーイング研究が評価された」と話す村下機構長

INEXT」(22年)の拠点として、健康寿命の延伸や地域経済の活性化につながる研究を進めている。本年度は弘前市の本町キヤンパスに「グローバルウェルビーイング総合研究所」を開所。心身の健康や社会全体の幸福の実現を目指す研究を本格化させてい

る。村下公一健康未来イノベーション研究機構長(副学長)は「研究成果を国内外に発信してきた取り組みが評価された。今後も世界のウェルビーイング実現に貢献していきたい」と話した。表彰式は16日、都内で行われた。(菊谷賢)